

最優秀賞

私に必要な勉強

北斗市立浜分中学校 3年 ひら お平尾 も え か萌花



「紙の勉強だけでできてダメだ。」と、体育の先生に言われたことがあります。私は、勉強はそれなりにできる方ですが、運動神経が鈍く、そのことをイジられたのだと思いました。だから、その時は気にしていませんでした。しかし、先生は、それに加えて「社会性が無い。」と言い出したのです。さすがに今度は気になりました。それと同時に「なぜ紙の勉強だけではダメなのか。」「紙ではない勉強とは何か。」という疑問が生まれました。

この頃の私は、極端に言うと、勉強さえできれば人生は大体うまくいくと思っていました。だから「勉強だけでできてダメ。」という言葉自体に納得がいかなかったのです。そこで私は、勉強さえできれば中学校生活は何とでもなるのだということを証明するため、1年生の後期に、クラスのまとめ役である学級委員に立候補しました。勉強ができることを根拠に、学級委員も同じようにこなせると信じていました。しかし、結果は…。クラスのみんなの前に立って話せばしどろもどろ、委員会では何も意見を出せず話し合いを眺めるだけ、学級委員として良い仕事をする事が全くできませんでした。悔しい、そう思いました。この経験で思い知ったのです。「勉強だけでできてダメなのだ。」と。先生の言っていた私の社会性の無さとはこういうことだったのです。学級委員を務め上げるために必要なものは、テストを解くための勉強だけでは身につけることができない、そう認めざるを得ませんでした。

先生は私に、「勉強ができて生きる力が無い。」とも言います。また、「自由を与えられると何をしたらいいのかわからなくなる。」と指摘しました。人からの指示ではなく、何をすべきか自分で考えて動く。私はこれができなかったから、学級委員の仕事もうまくいかなかったのだと思います。自分で考えて行動するというこ

とは、社会に出ても必要なことだと思います。「紙ではない勉強」とは、「自分で考えて生きていくために必要なものを身につけるための勉強」だと私は思いました。

では、「自分で考えて生きていくための勉強」は、どのようにしたら身につくのでしょうか。私なりに考えてみましたが、まずは何事にも積極的に参加すること、これがいちばんだと思います。委員会や学級、係の活動など、参加すればするほど人と関わる機会が増えます。さまざまな人と話すことで自分の考えを広げられ、人との接し方についても学ぶことができます。積極性と協調性の両方を意識し、周りをよく見て行動、発言するように心がけてみよう、そう思いました。

そして、その後、学級委員のリベンジとして、私は図書委員会の委員長に挑戦しました。挫折した学級委員の時の反省を生かし、自分なりに満足のいく仕事ことができました。前よりも成長できたという実感もあり、嬉しく思いました。しかし、私に足りないものはまだまだあり、さらに成長したいという思いも増しました。

このようなことに気づいて、私が最初に思ったのは、先生への感謝です。私の未熟さを見抜き、それに気づかせてくださったおかげで、自分を少し変えることができたと思います。もちろん、今も、「紙の勉強」も大事だと思っています。勉強は忍耐力をつけてくれます。そして、自分の興味の幅を広げてくれるものであり、学生にとって努力し続けなければいけないものでもあります。

最終的に私が思ったことは、「紙の勉強」も「紙ではない勉強」も両方大切だということです。これから社会に出ていくために、両方の勉強から自分で考えて生きていくための力を身につけていきたいと思っています。